

C o + w o r k A (Co+work A)

担当教員名	全教員	
学科・専攻、科目詳細	電気情報工学科 情報工学コース 4年 前期 1単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 演習系	
学習・教育目標	共生システム工学	B-3(70%) H-3(30%)
	JABEE基準1(1)	(f)(h)(i)
科目的概要	<p>自立、協働、創造の能力を養成することを目的とし、多様な環境（他学科・他学年の学生との交わり、学外の人々との交わりなど）の中で、チームにどんな貢献ができるかを考えて自立的に役割を果たし、メンバーと協働し、チームワーク力を発揮して、創造性が養われる学習活動を行う。</p> <p>各チームでメンバー全員にとって何らかの挑戦（チャレンジ）を有する活動を担当教員とチームで決定する。活動計画書を作成の上、活動を行う。報告会や振り返り会を経て、活動計画の修正を行ながら、活動を進める。</p>	
テキスト(参考文献)	各チームの活動の内容に応じて適宜使用する。	
履修上の注意	<p>学科学年横断でのチームによる学習活動の実施に基づく授業であるため、取り組み課題を通じて自立・協働・創造にかかる力を身に付け、目標を達成するためには、授業に積極的に関わることが必要である。</p> <p>授業開始後、チームの担当教員との連絡が取れるよう確認すること。</p>	
科目的達成目標	<p>チームで計画した活動を進め、課題に取り組むことを通じて、主体性や自己管理能力を身につけ、他者を尊重しながら、チームで作業ができる。</p> <p>自分の専門以外の分野についても積極的に学習を行い、それらの情報を収集・整理し課題を発見し提案することができる。</p>	
自己学習	目標達成のため、自己学習および関与するチームでの学習を行うことが望ましい。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	<p>(1)個人の取り組み（教員・学生による評価） 80%（自立(40%) + 協働(40%) + 創造(20%)）</p> <p>(2)チームの取り組みと成果（複数の教員による評価） 20%（協働(50%) + 創造(50%)）</p> <p>上記(1)は、ループリックを用いた学生の自己評価、相互評価と教員の評価をもとに、チームの担当教員が評価を行う。(2)は中間報告会での複数の教員によるチェックシートを用いた評価とする。60点以上を合格とする。</p> <p>毎回の授業終了時の振り返りで気づいたことと取り組みの内容を自己評価シートに記入する。中間報告会を終了後、チームの他のメンバーが自立・協働・創造に関する能力をどの程度発揮し、活動へどんな貢献をしたかを相互評価シートに記入する。なお、各学期の中間では評価点をつけない。</p>	
連絡先	co-work@akashi.ac.jp、担当教員	

授業の計画・内容	
第1週 全体授業ガイダンス、チームメンバーの発表、チームビルディング	授業ガイダンスを受け、全体スケジュール、活動に関する諸注意、評価方法等を確認する。チームメンバー、チーム担当教員の発表を受けチームメンバーの顔合わせ、チームビルディングを行う。
第2週 活動目標の決定および活動内容の計画	自己目標を各自で定めて記録する。チーム活動に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、実施方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。
第3週 活動目標の決定および活動内容の計画	チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。完成後は活動を開始する。
第4週 活動目標の決定および活動内容の計画	チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。完成後は活動を開始する。
第5週 活動目標の決定および活動内容の計画	チーム活動の目標決定に向け、テーマに沿ってアイデアを出し議論をする。決定した活動目標に沿って、方法、役割分担、スケジュール等を決定し活動計画書にまとめる。活動計画書を提出する。
第6週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。
第7週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。
第8週 (中間試験 実施せず) (中間試験 実施せず)	
第9週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。
第10週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。
第11週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。
第12週 チーム活動	活動計画書に従ってチームで活動を行う。スケジュールの遅延や実施方法の不備等が明らかになった場合、活動計画の修正・変更を行う。中間報告会の準備を行う。
第13週 中間報告会	活動内容を共有するためにチームの活動について報告を行う。他のチームの報告を聞く。
第14週 振り返り会・これまでの活動のまとめ	中間報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。各自の行動を省みて、自立・協働・創造に関して目標達成した点や反省点を自己および相互に記録する。
第15週 振り返り会・これまでの活動のまとめ	中間報告会の振り返りを行うと共にこれまでのチーム活動を省み、今後の活動計画を確認する。自己および相互の行動の記録をもとにチーム担当教員よりフィードバックを受ける。
期末試験実施せず	